

徳地アドベンチャー教育プログラム (TAP) 指導者養成講習会

【目的】 「徳地アドベンチャー教育プログラム」(以下、TAP)の実習や講義を通して、チームビルド等の人間関係の構築や自己肯定感の向上を目的としたグループワークの指導者に求められる知識・技能を習得する。

また、本指導者養成事業は弊所の研修支援団体へのTAPの外部指導員の育成のカリキュラムの1つとし、外部指導員確保も同時に目的としている。

【開催日】 令和4年3月19日(土)～3月21日(月・祝)

【参加者】 青少年教育施設指導者等 7名

【プログラムの内容】

11	10:00	12:00	13:30	17:00	19:00	21:00
日	開講式 OR	昼食	セッション①	夕食・入浴	セッション②	
12	9:00	12:00	13:00	17:00	19:00	21:00
日	朝食	セッション③	昼食	セッション④	夕食・入浴	セッション⑤
13	9:00	12:00	13:00	15:30	16:00	
日	朝食	セッション⑥	昼食	セッション⑦	閉講式	

- セッション①: アイスブレイク、ウォームアップ、イニシアティブ、ローエレメント等
- セッション②～⑦: 以下のことを体験と講義により習得する
 - ・チャレンジバイチョイス、フルバリュー、being、などの考え方
 - ・ローエレメントの基本的ルール・使い方
 - ・グループを見る視点 (GRABBSS)
 - ・活動の分類とプログラムの組み立て

開講式



7名の参加者が東は長野県から西は佐賀県からお越しいただきました。

セッション①



午後からは、課題解決を中心に体験しました。初めてするアクティビティにと戸惑いながらも、そこに現れた自分たちの気持ちの変化をしっかりとらえていました。

セッション②



夜はエレメントを中心に体験し、その効果と体験的に学びました。また、指導者として提供する際の、イメージについても学びました。

セッション③



2日目セッション④は難易度の高い課題解決を体験し、そこから学んだことをまとめてみました。

セッション④⑤



2日目午後からは理論の学習に入りました。基本的な知識を元に、自分たちのオリジナルシートを作成しました。

セッション⑥⑦



最終日はここまで学んできたものを元に、自分が指導者ならどのように組み立てていくかを考え、まとめたものを元に発表し、もらったフィードバックを元に再構築してみました。

【参加者の声】

「非常に勉強になった。各セッションの目的が明確なので、自分なりに学べた。」「体験から座学という流れがとても良い。進捗状況に合わせて柔軟だった。よく考えられたプログラムで適切なタイミングと助言があった」「負荷が高いアクティビティを体験することで指導者視点が一時的にはずれ、楽しむことができた」「アクティビティの新しいバージョンを学ぶことができた」「みんなで話ながら作り上げていく時間が良い」「組み立てたものをブラッシュアップしていくことで理論に立ち返れることができた」

【成果と課題】

参加者の学びたい内容を事前に共通理解することで、欲していることを持ち帰ってもらえるよう、対応することができた。

TAP研修会に参加した方がその裏側にある理論を学びたいと思ってもらえる研修会のレベルの向上と、理論を学びたいというニーズに応えられる施設になってきている。今後はこの「質」を落とさずに提供できる状態をつくりあげる必要がある。

また、新型コロナウイルス感染症の状況により、本来は16名の申込みであったものが半数になってしまった。今後も、このような状況は続くと考えられることから、時代に合った開催方法を検討していく必要がある。